

特253

943

報國組合
「第四輯」

支那事變の前途

名古屋軍需報國組合編

始

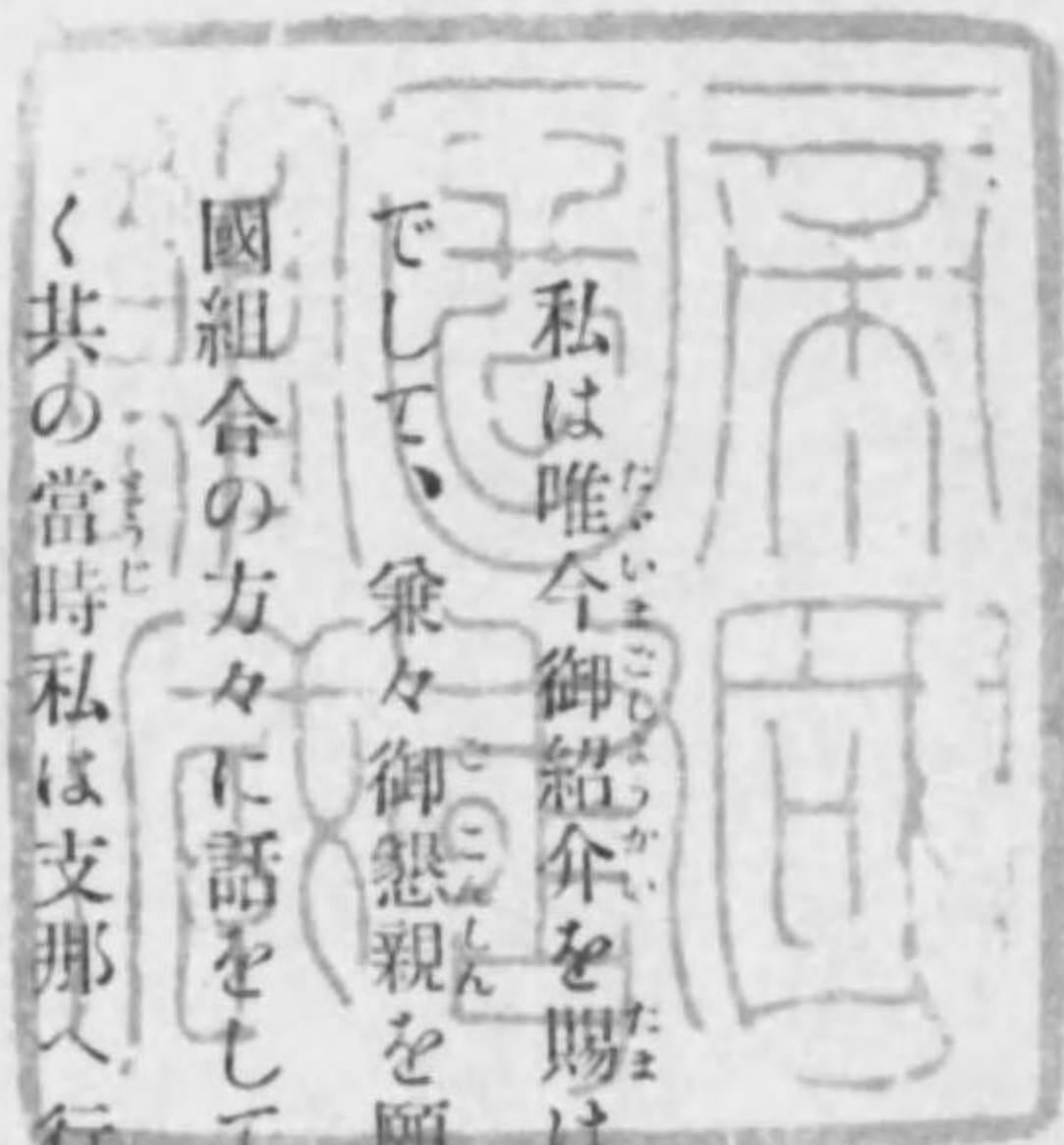


特253
743

支那事變の前途

前外務政務次官
衆議院議員

松本忠雄



私は唯一御紹介を賜はりました松本であります。私と矢島さんとは同郷のもの
 として、兼々御懇親を願つて居る關係上、今年の四月に、名古屋へ来て軍需報
 國組合の方々に話をして呉れと云ふ依頼を受けた事がありました。然るに折悪し
 く其の當時私は支那人行かねばならなくなつて居ましたので、残念ながらお断り
 をしました。其處で今度名古屋へ來ることになつたので、前の事もありませんから
 今度は此方から話させて呉れと頼んで、今日皆様に御目にかゝる事になつた様な
 譯であります。

さて昨年の九月支那事變の最中に、歐洲に戦争が始まりました。其處で我が國の人々の關心は、自分に直接關係のある支那事變の方よりも、寧ろ歐洲の情勢の方に傾いて居る傾向があります。殊に最近餘り面白くないと思はれる事は、世間の人の間にドイツの勝ち方は實にスバラシイといつて、此方に感嘆するもの、多い事で、ドイツは非常にすばらしいと云ふ反面には、日本の支那に於る成果はそれに較べると何だか物足りないと思ふ感が潜んで居るやうであります。

成る程ドイツの進撃は實に電撃的で、オランダ、ベルギーを僅か一週間で蹂躙しました。夫れに比べれば、支那事變は、もう足掛け四年にならうとして居て、遅々として居るやうであります。然し我々は其の戦果を比較するには、一應其の地理的状況なども併せ考へて見る必要があります。

オランダ、ベルギーは二つの國ではありますが其の廣さは、支那では山東省の

中に入つて仕舞ふ位の大きさなのであります。それですから面積と云ふ点から見ると、之を驚嘆してばかり居るのは、却つて變になります。

又ドイツの進撃は非常に速い、之に反して日本は何をして居るのだらう。何故ドイツの様に進撃出来ないのだらうと云ふ聲も聞きますがこれも餘りにも考へ無いことで、歐洲の文明國は道路も鐵道も橋も立派に完備して居ります。其處へ機械化部隊を持つて行けば速いのは當然であります。然るに支那はどうか、歐洲とは全然異ひます。道も無い、橋もない、全く交通機關が無いのですから、如何に快速部隊を持つて行つても進みやうが無いのであります。支那は歐洲と同じ様に考へる事は出来ません。

支那にある我が兵隊さんの戦果と云ふものは、實に偉大なものでありまして、オランダ、ベルギーであれ丈の電撃戦をやつたドイツでも、支那では到底日本

軍のやうな成果は擧げ得ないにきまつて居ます。之に反し、若し日本軍が歐洲に進軍するとしたら或は一ヶ月で歐洲全部を席捲して仕舞ふであります。

今日迄に支那で我軍が収めた戦果について考へて見るに、一体支那には開港場が四十個所あります。然るに其の中二十六個所は現に日本軍が占領して居ります。さうして其の残りの十四は重慶等の様な奥地即ち四川省雲南省あたりの僻遠の地にあるものだけであります。結局支那にある主要な開港場は全部我軍に占領されて居るのでありますから、支那の開港場は全部我軍に占領されたのと同様であります。

鐵道にしても現在蔣介石が端から端迄完全に持つて居るものは僅に三本より外ありません。あとは日本軍が全部或は大部分を占領して居るのであります。都會にしても支那の重立つたものは殆んど全部日本軍が占領して居ります。元來支那

には大きい都會が七つありまして、これに政治も軍事も經濟も文化も集中して居ると申します。此七つの都會と云ふのは北京、天津、青島、上海、南京、漢口、廣東であります。これ等は現に皆日本軍が占領して居ます。

支那の動脈揚子江も最も價値のあるよい所は日本軍の占領下にあります。こんなに支那の重要地点が、我軍の完全な占領に歸したのだから、一体なら事變はもう終り相なものにも思はるのであります。

ドイツは一年になるかならぬに早くもポーランド、ノルウェー、デンマーク、オランダ、ベルギー、フランスと次々に占領降伏せしめて行つて居る。それに較べて見ると、支那事變の方は三年にもなつてまだ終り相にも見えない。ドイツに比して日本の方は遅々として居るでは無いかと云ふ聲もききます。然し夫れは相手にもよる事であります。

本當に國を思ひ、國民を思ふ政治家が居る國は戦争が不利になれば早く片を付
 けます。これ以上戦へば國家がどうなるか、國民がどうなるかと云ふ事を考へ、
 今茲處で降服して再び立ち上るべき餘力を保とうとする政治家があれば戦争も早
 く片付くのであります。フランスはその例であります。フランス政府は氣の毒で
 あります。飽迄ドイツと戦へば必ず負ける事は解つて居ります。國運を培して幾
 多の犠牲を拂つて最後迄戦へば、後世迄勇敢な愛國者として歴史に永く語り傳へ
 られると思ひます。

然し徹底的に戦に負けて、國土は全部侵され、再起する事が出来ない様になつ
 ては何にもならない。そこで新しいフランス政府の當局は將來の國を思ひ、國民
 を思つて、此の苦しい屈辱を忍んだのであります。
 ところが蔣介石はそれとは全然違ふのであります。彼等は日本に降伏する事に

よつて、國民から無暴な戦争をした事を責められる事を恐れて、勝つ目あても無
 いのに、徒らに勝つくと豪語して、國民がどうならうと、國家がどうならうと
 かまはず、抗戦を續けて居るのであります。其爲に蔣介石は現在是一部人民の間
 に於て、英雄視されて居るかも知れないが、支那の將來を思ふ時に、彼こそ支那
 國民として憎むべき人間なのであります。だから飽くまで蔣介石は打倒せねばな
 りません。自己の榮譽の爲に、國家國民を犠牲とする政治家位憎むべきものは
 ありません。

其蔣介石の功名心の犠牲となつて、支那人は現在實に悲惨な生活をして居ます
 然るにそれを見ると日本人はすぐ同情したがる。さうして戦争は悲惨だ。早く止
 めなければいけないと云ふ。私もさう云ふ考へ方が、悪い事だとは云はない。然
 しもう少し深く考へて見る必要が有ります。

元來此の戦争の原因は蒋介石の間違つた考へ方にあるのです。支那人としては先づ此の事を知る事が必要です。支那人がそれを知つたならば、支那人自身が悲惨なる状態に陥つて居るのは、蒋介石の責任だと云ふ事が判るでせう。夫れが判れば支那人が擧つて蒋介石に戦争をやめさせるやうにするでせう。先づ第一に支那人に此の戦争の原因は悉く蒋介石にあると云ふ事を知らせねばならないのです。然るに日本人中にそれをせずに、徒らに支那人に同情し、支那は悲惨であるとか云ふ様なことを支那から歸つた土産話にするのは、少し本末顛倒であると思ふのであります。

こんな話があります。或る役人が香港で映書を見て居たら蒋介石の寫る場面が出て來た。すると支那人が盛んに拍手する。此日本人丈けが拍手しないと、群衆の爲にひどい目に會はされるかも知れぬと思つて、心ならずも同じ様に拍手をし

た。然るに翌朝の新聞に「日本人迄が蔣委員長を見て拍手した」と報道したと云ふ事です。こんな事で日本人が、蒋介石の方の支那人に、日本迄が蒋介石に心酔して居るかのやうな口實を提供する事は、實に情け無い話であります。日本人はもう少し言動について戒心する必要があります。

日本人は支那人が何か云つて來ると、直ぐ同情的になつて成程尤もだとうなづいて仕舞ふ。同情はよい事ではあるが、よく物事を考へてせんと低級な同情の安賣りになつて却つて國家の爲めにならない事もあるので、其邊には大に考慮を要するものがあると思ひます。

事變が早く片附かないのは相手が悪いからであります。然し現に蒋介石の方の支那人は、オランダやベルギーやフランスは一ヶ年足らずでドイツに降伏して仕舞つたが、支那は強い日本軍を相手に戦つて、もう三年間も立派に戦つて來た

實に偉いものであらうと自慢して居ります。變な自慢でありますが、兎に角三年に互つて抗戦を續けて來た事は事實であります。一体蔣介石の方の支那は何故こんな長く頑張り得たのであらう。蔣介石が長期抗戦を叫んで止まないのに對して、民衆がついて行くのは何故であるか、それには三つの原因があると思ひます。其第一は人様頼み——もう少し頑張つて居ると、何處か外の國が出て來て蔣介石を助けて日本をやつゝけて呉れる。それ迄持ち續けよう云ふのである。

其第二は日本は長期戦は出來ない。抗戦を續けて居る中には國內が弱つて先づ日本自身が駄目になると云ふのである。

其第三は汪政權を建てたが、あんなものは何も役に立たない。その中には日本が手を離すか、或は汪精衛が逃げ出すかどちらかだ。さうなれば占めたものであると云ふにある。

此の三つの原因によつて、あれ程迄に叩きつけられた蔣介石の支那が仲々降伏しないのであります。我が國はこれをよく考へるべきであります。今迄の赫赫たる戦果を完全なものにするには、此の三つの点に就いて夫々彼等の惑ひを解く必要がおります。

第一の問題について現在支那の頼つて居る國は英、佛、ソ、米の四國であります。處が幸ひ歐洲の戦争の推移によつて、此等の國の援蔣行爲が次第に望み薄になつて來ました。

日本人の中にも今度の歐洲大戦では、英佛が勝つと信じて居た人達が随分あつたやうですが、蔣介石の方では、ドイツが敗けるものと信じ願つて居たのであります。處が案外ドイツの勝利は確定的になつて、英佛は自分の家に火が點いて、とても支那などにかまつて居られなくなり、日本に對しても強く出られなくなり

ました。佛蘭西は御承知の通り到々ドイツに降伏し、反對に英國と戦争を始めると云ふ事になり、昨日迄の友は今日は敵と云ふ有様であり、英國は大事な本國が何時ドイツ軍の鐵蹄に踏みにじられるか判らないと云ふ様な譯で援蔣どころではありません。天津租界問題の解決は其の一例であります。日本には非常に都合がよくなりましたが、其外にも英の支那に於ける信用が非常に低くなつた事が事變處理にも都合よくなつたのであります。今迄絶對的に優勢なものと思つて信じ切つて居た英國が案外弱い。これでは頼り甲斐がない。と蔣介石の方の支那でも思ふ様になつて、其の結果が色々な方面に現れ始めました。現在では支那に於る英の信用は全く墜ちて仕舞つたのだから、この上は佛蘭西や英國を通じて軍需品の流入する事を塞ぐ事に全力を擧ぐべきであります。

軍需品の流入の問題は非常にデリケートな問題で、日本人が意識しない中に、日本の製品が蔣介石軍の手に渡つて居る。勿論日本の方で蔣介石の方になど賣る者がなくて、外へ出す商品が、廻り廻つて彼等に利用されて居る現状であります。況んや始めから蔣介石の方を援ける積で軍需品の流入に便宜を圖るとすれば、何でも出來ます。

此軍需品を最も多量に入れる佛印は、今度では日本の言ひ分を聽いて、援蔣行為を中止することになりました。若し佛印が之を中止しなければ佛印に對して止むを得ず實力の發動をも見たでありませうが、先方が素直に我主張を容れたので大した事にならずに、其の目的を達する事が出來ました。これは歐洲に於る戦争の狀勢による所が多いのであります。

然し我が國の人々の間には佛印が佛蘭西のものであればいゝが、歐洲戦争の結果之がドイツのものとなり、イタリーのものとなつては、日本として好ましくな

い事になりはせぬかと云ふ心配を持つ人があるが、誠に御尤もの事で御座います。此事は政府の方でも何んとか考えて居られると思ひます。先般イタリアに派遣された佐藤大使が、ムツソリーニをその出先きまで逢つて行つて話をしたと云ふ新聞電報がありました。其用向は必ずその事に違ひない、佛印問題にきまつてゐると思ひます。ドイツにも同様の申入れして、豫め夫々必要な手を打つ事と存じますが、恐らくドイツもイタリアも佛印を取るとは云はないだらうと思ひます。今蒋介石の方に軍需品の入る所と云へばこの佛印の外に香港とビルマがありますが、これを徹底的に止めなければならぬのであります。

香港は英領ではあるけれど、實は蒋介石の兵站基地であつて彼等にまつて最も大切な所であります。日本商品が知らぬ中に彼等の手に渡るのも此處から入るので、其外世界の各方面から來るものが、此を通じて蒋介石の方へ行く、そこで最

近日日本軍は此の方面の輸血路を實力を以て壓へる事にしました。

次に英領ビルマから雲南への道も、矢張り蒋介石の重要な輸血路でありますから、今此の方面をも壓へることに我當局は、イギリスに交渉して居ます。現在の歐洲の戦局から見てイギリスは之を聽くと存じますが、萬一聽かなければ斷乎たる處置が講せらるゝであります。

次に蒋介石援助の第三國としてはソビエトの問題がありますが、ロシアが援蔣行爲をするのは蒋介石を援ける爲でなく、支那に於ける共産黨を援けるのが目的であります。共産黨勢力を扶植するのに都合がよいから蒋介石を助けるのであります。然し蒋介石を助けて日本と戦はせる事が、ロシアにとつても都合がよいからと云ふ事も蒋介石を援助する所以であります。

在來ロシアと日本との國交は難物であります。ロシアの日本に對する態度は時

によくなつたかと思ふと、直ぐ又悪くなる、悪くなつたかと思ふと直ぐに緩和する。全く朝に於て夕をはかるべからざるものがあります。今最近の事情を申せばノモンハンの國境確定問題は先般解決しましたが、之れはロシヤが譲歩したからであります。一体此の問題は、去る一月末に日本から兩方が譲り合ふ案を出したのであります。ロシヤが之を肯かすに成立しなかつたのであります。それが今度のかねての日本の主張通り互の譲歩で成立したのです、即ちロシヤがそれだけ譲歩したので、これはロシヤの態度が多少緩和した事でありましたが、此の問題の解決直後、ロシヤのモロトフ外務人民委員は、駐ソ東郷大使に此上は今迄の懸案を夫々解決しやうと相談を持ちかけて來ました。これはロシヤが日本に近付かんとして來た現れであると思ひます。

然し夫れだからと云つてロシヤに蔣介石の援助を止めろと云つても、夫れを聽

き入れるとは考へられませんが、元々ロシヤが援けたいのは蔣介石では無くて、共産黨であると云ふ事、歐洲の狀勢がロシヤとしても決して氣の許せる事情では無いと云ふやうな事からして、ロシヤに蔣介石援助を止めさせる事も、決して絶望事では無いと思ふのであります。

さて次はアメリカの問題であります。現在支那はアメリカに一番期待を持つて居るのではないかと思ひます。アメリカは歐洲で英佛が弱れば弱る程、余計に日本に取つて意地悪くなるのであります。

目下歐洲戰に對してアメリカが參戰するかと云ふ問題がやかましいが、アメリカは事實に於ては、最早參戰して居るのと同じであります。英佛に物を賣るのみでなく、現役の兵器を貸したり、賣つたりして居る以上最早參戰したも同じであります。アメリカが假に參戰するにしても歐洲に兵隊を送ると云ふやうな事は出

來ませんから、事實アメリカは參戦したと同様の事をして居るのであります。

フランスが降伏してドイツが愈々對英上陸作戰をする事になると、先づドイツは英國を封鎖すると思ひます。

其れをやる爲には例の潜水艦などが活躍する事になつて、アメリカから物資を運ぶのも困難になり、そこでアメリカの軍艦で之を護衛すると云ふやうな事になるのでありませう。然し夫れにはアメリカは海軍力が不足だと云ふ事になるのであります。何故かと申しますと日本が東洋にがん張つて居るから、アメリカは日本の出方を心配して、大艦隊を太平洋に集めて、眞珠灣あたりに現にうろくして居なければならぬからであります。

そこでアメリカが眞にイギリスを助ける爲には、日本との關係を調整しなければならぬ事になるのであります。先日シカゴの或る新聞がアメリカの海軍を、二

倍にする方法と題して、之を速に實現する爲には先づ日本と手を握り太平洋に居る艦隊を大西洋へ持つて來る事であると云ふことを書いたのであります。するとそれが次から次へとアメリカ各地の新聞に取上げられ、ウォター、ソツプマンと云ふ有名な軍事評論家が同様の主張をなし、夫れが遂に議會に迄持ち出されるやうになりました。

此の一例が示す様にアメリカの對日感情は大分變つて來ました。一体本年一月日米通商條約が廢棄になつた頃は、アメリカは屑鐵、石油等を日本に賣らない様になるのでは無いかと思はれた。然るに近來は却て幾分が買ひよくなり、工作機械輸出禁止の問題も抗議を申込むと色よい返事をする様になりました。

今こそアメリカをして日本に對する態度を轉交させるには非常にいゝ時でありますから、此際アメリカをして援蔣行爲を中止させるべく努力すべきで、之をする

に今は絶好の時であると思ひます。

斯うして英佛ソ米の援蔣行爲を止めさせれば、蔣介石も前途に對する見込も無くなつて來ますから、茲につまらない無茶な抗日の夢からさめる事になるのでありませう。斯うして第三國の蔣介石援助をやめさせる事が事變處理の第一要諦であります。今は其の爲に絶好の機會であります。次は日本の行き詰ると云ふ問題であります。日本人としてはそんな事はあつてはならない。お互にそんな事は決してならないと云ふ決心を持つて居るのですが、彼等は必ず日本は行き詰るものと信じて居る。然らばなせ彼等はそんな間違つた事を信じて居るか、それを

考へて見なければならぬのであります。考へて見なければならぬのであります。彼等が日本が行き詰る。早晩日本は國內の破綻が來ると信ずるのは單なるデマや憶測ばかりではないのであります。彼等は日本側から得る材料によつてさう論

斷して居るのであります。

即ち日本の新聞、雑誌或は講演等に於て、日本人自身が極く不用意に、これでは將來の日本が案じられるとか、こんな行き方では今に日本が行き詰るとか、云ふやうな事を書いたり話したりする。それを云つたり書いたりする人は少しは強く云はねば響かないと思つて極端な表現の仕方をするものがあるのであります。さうすると蔣介石の方ではこれを全部取つて利用するのであります。

重慶政府側の手には日本のあらゆる印刷物が集められてゐるやうです。さうして驚くべきことには、其中に苟くも利用すべきものがあれば、利す所なく利用されて居ます。こんなものは日本人なら振りむいても見ないやうな些少の廣告的印刷物であつても其中に彼等に具合のよい記事がありますと、之を日本人の意見、日本の輿論として翻譯して彼等の抗日戰爭繼續の爲の材料として居るのであります。

す。例へば或るお醫者さんの學會の雑誌に歸還看護婦の座談會の記事がありました。彼女達は其の席で自分達の戦地に於ける色々の困難を語り戦争の悲惨な事を語つたのでありますが蔣介石の方ではそれを利用して日本の兵隊はこんな苦しんで居る。日本の方ではこんなに悲惨だ。だから日本は今に參つて仕舞ふと宣傳する、又ある本屋の月報に昨年度の雑誌界の展望といふ一文があつて、それに何時何んと云ふ雑誌がどう云ふ事を書いて發賣禁止になつたと云ふやうな事があつたところ直に之を譯して、又これを以て日本に於ける言論の束縛と云ふ事に利用して居るのであります。

さうして彼等が一般民衆に宣傳して云ふには、これは吾々が憶測で言ふのでは無い。現に日本の何々雑誌に誰々の説として載つてゐるのだ。現に何月何日の何新聞に斯う書いてあるのだ。日本人自身が言ふのだから間違ひは無い。日本の行詰

るのも時期の問題となつたと、斯う利用するのであります。

詰り吾々の方で不用意の中に云つたり、書いたりする事を彼等は大に利用して居るのであります。吾々は餘程言論を慎んで彼等に利用されるやうな材料を提供しないやうにする必要があります。皆さんが軍需報國組合を結成されて防諜のことについて當局に協力されて御盡力下さるのも亦こゝにあるのであります。私は組合の御事業其のものに就て、皆さんの御努力に就て満腹の敬意を持つと共に其の勞を多とし大いに所期の目的の徹底普及に努められん事を祈るのであります。日本としては彼等の抗戦力を増す様な事は絶対避けねばなりません。國民としては堅い決心は出来てゐるが、尙彼等にそんな事を思はせない様に一致協力して日本の眞の強さ吾々の強さをよく示さねばならないと思ひます。次は汪政權の問題でありますが、蔣介石一派はこれは決して物にならないと云つ

て居ります。然らば一体日本人はこれを仕う思つて居るか。
町の噂話を聞くと、よく汪政権は駄目だ。汪は金も無い。軍隊も無い。力も無い
それで何の仕事が出来よう。これをものにするのはとてもむづかしいと云ひます
これは余りにも考への無い事であります。成程汪政権には今のところ金もない。
軍隊もない。力も乏しい。然しこれは無いのが當然で生れて間もない汪政権にそ
んなものがあると思ふのが間違ひであります。無いものは之を指導する日本が補
つてやるべきであります。

汪政権は何處までも援け、盛り立て、行かねばなりません。
然し日本が彼を途中で見離したら、最早將來日本を頼りついて来る支那人はなく
なります。さうなつたら本當に駄目で日本は飽くまで彼を生長させて行かねばな
りません。

又阿部全權大使は折角あゝして行つても、今に談判を始めないじやないか、これ
は日本政府が汪政権を相手にしないからでは無いかといふ者があります。成る程
阿部全權が行つてからもう三月になります。まだ談判は始まりません。然しこれ
は汪政権を相手にしないからでなく、日本の案が完成しなかつたからであります
一体日本と汪精衛氏との間には既に昨年の十二月に下話は出来て居るのでありま
すけれど其の話を條文に直すと云ふ事は仲々の仕事であります。其れ故に案文を
作る事が遅れ其爲に阿部大使が條約締結の談判を開始する事が出来なかつたので
すが、これは大使が悪いのでも當局が悪いのでもありません。然し其の案も愈々
完成しましたから近くだん／＼會談に移り、近き將來に本當の日支親善の爲の友
好的な根本協定が出来るのであると信じます。

然し日本と汪氏との間には話合は出来たが蒋介石とは依然戦争して居るといふの

では面白くない。汪氏と話合が出来ると同時に蒋介石の方でも我軍門に降を請ふて戦争を止めるやうにする事が望ましい。さうさせる爲に先刻來申上げた第三國の蒋介石援助を止めさせる。我國内体制を整へ如何なる長期戦争にも堪え得るものである事を明かにする。更に汪政權を誠心誠意援助する事が必要であります。よく世の中には戦争は何時済むでせうと云ふ者がありますが、日本人がそんな生温い考へ方や態度では駄目であります。

お互がこの戦争は自分の戦争で他人の事ではない。いつ済むでせうなんてそんな人頼みの事でどうしますか。即ちお互の力でいつ迄に蒋介石を敗かさすには措かないと云ふ決心を以て、事變に對する必要があるあります。人が負かして呉れるのは無く自分の力で負かして仕舞ふのだとの覺悟が無ければなりません。戦争は戦地に行つて居らるゝ將兵が如何に奮闘されても、銃後にあるものが、戦

地に居る氣持になつて努力をしなければ駄目であります。今や前線の兵隊さんは非常な苦勞をして蒋介石に最後の止めを刺して、聖戰の目的を貫徹すべく働いて呉れて居ります。

吾も同じ覺悟同じ決心を持つて努力しなければなりません。

今は總ての方面から見て丁度それにいゝ潮時であります。此際お互に大に奮闘して最後の目的を達するやうに致しませう。

後記に代へて

名古屋軍需報國組合長

矢 島 環

二八

これは松本先生が、二ヶ月半に亘る香港、廣東、厦門等の支那視察旅行から歸られて間もなく、非常に御忙しい中を御來名になられて、特に組合の爲めに御講演下さつたものであります。

先生は元外務政務次官として内外の事情に精通され、ことに政界に於ける支那事情の一人として重きをなされて居られる方でありませう。

この講演も先生の實際経験からの見聞を、其の該博なる識見に依つて統合されてのお話で、よく事變處理に就て國民は如何に考へ、如何に進むべきかをお説き下さつたもので、私達の教へらるゝ所實に大きいものがあります。

私達はこの講演に依つて、始めて吾々がいろ／＼と憶測して想像したり、危んで居たり、不安に思つてゐた事々をハッキリと知ることが出来、今後の進むべき道に就て心強さを感ずるのであります。

今更に痛感することは、我々銃後國民の心構への如何に大切であるか、其の不用意になされる一舉一動、一言半句が、どんなに敵性國家に悪用され、大きい影響を與へるか云ふ事であります。

私達も早くより、この點に就ては大いに慎重戒心を要することに思つて、關係當局の御指導の本に軍需報國組合を結成して防諜に關する講演會を開いたり、防諜ポスター、パンフレット等を發行して一般に配布し軍防諜に協力し敵性國家の謀略宣傳に乗らないやう互に相戒め、これが一般指導に當つて來たのであります。が最近に至つて、この恐るべき謀略宣傳が如何に巧妙に、且つ惡辣に行はれて居

たかの事實が、イギリス諜報國一味の檢舉によつて明らかにされたのであります。この檢舉がどんなにイギリスに取つて痛手であつたかは、イギリス政府が公式抗議を申込んだり、これが報復手段として、在英三菱、三井などの支店長をスパイ嫌疑として拘置したりした事實から見て明瞭であります。英領土各地に亘つて我が相當重要地位にある邦人を、スパイ嫌疑の名で監禁したりして、我が諜報網檢舉の手を緩めさせようと牽制運動を起したりして居ります。

今やスパイの問題は、單にイギリスだけのものでなく、我が國を廻る敵性列國が、どんなに鋭い瓜を磨いて其の機密を握るべく活躍してゐるか想像に餘るものがあります。

武力に依る戦争と相並んで、スパイ戦が漸く其の全貌を世界の爭奪戦場に顯して來たのであります。

この際、吾々は組合結成の目的を一層明かにし、其の趣旨に添ふべく、愈々自蕭自戒、最善の戒心を以て銃後の守りを堅くし、以て聖業を翼賛し、興亞の實を貫徹するべく努力しなくてはならないと痛感するのであります。

昭和庚辰夏日

408
15

昭和十五年八月二十一日
昭和十五年八月二十五日

印刷
發行

【非賣品】

名古屋市中區流町八番地

發行兼編輯人 片桐 一雄

名古屋市中區西境町三丁目二番地

印刷人 河野 傳

名古屋市中區西境町三丁目二番地

印刷所 眞清 社

名古屋市中區流町八番地

發行所

名古屋軍需用達組合

電話瑞穂八五〇・一八七番

終

